

青竹

28

NO.

2006.3.27

編集：病院広報紙編集委員会

委員長 鈴木 道生

- 2 平成17年度を顧みると...
- 3 新任医師のご紹介
- 4 事務局から
- 6 診療技術局から
- 7 くすり箱
- 8 ご意見箱～院長からのご返事
- 10 奉仕（サービス）について
- 12 お知らせ



ボランティア「ホスピタルクラウン」の海外での活動風景（当院でも活躍しています。）

平成17年度を顧みると…

平成17年

4月 1日(金)	医療安全管理室開設	医療・診察などにおける情報共有を進め、今後の診療業務に活用することで、安全医療の推進を図ってまいります。
4月22日(金) PM1:00~4:00	リウマチ講演会	「人工膝関節置換術の治療成績／栗本秀医師」「関節リウマチの生活の障害について／中山朋香作業療法士」「最近のリウマチ治療情報／大石幸由医師」「ナビゲーションシステムを用いた最新の低侵襲人工膝関節置換術／小嶋俊久医師」
5月11日(水)	ふれあい看護体験	地域の人々と病院関係者が交流し、患者さんとのふれあいを通して看護のあり方に理解と関心を深めるために実施しました。
5月17日(火)	女性相談室開設	女性特有の疾病・悩みなどに対応するためベテランの女性看護師が相談に応じます。
5月23日(月) PM3:00~4:00	ゴスペルコンサート	Voice of loveの皆さん うた、キーボードなど
6月20日(月) PM2:00~3:00	みどり輝く6月のコンサート	グループ音紡ぎの皆さん うた、チェロ、バイオリン、ピアノなど
7月27日(水) PM2:00~3:00	サマーコンサート	豊橋マリンバの会の皆さん マリンバ、ピアノなど
8月 3日(水)	一日看護体験研修	これから社会を担っていく高校生の皆さんに実際の看護の場を体験してもらうことにより、看護の心を理解していただくために実施しました。
8月25日(木) PM2:00~3:00	サマーコンサート	ハーモニーグリーンの皆さん うた、ピアノなど
9月 7日(水) PM1:30~	第44回衆議院議員総選挙 不在者投票	入院している有権者の患者さんに対して不在者投票を実施しました。
10月13日(木) PM2:00~3:00	ロシア民族アンサンブル	ベリョースカの皆さん 豊橋での公演を控え、うた、踊り、民族楽器などを披露してくれました。
10月21日(金) PM1:00~4:00	リウマチ講演会	「自助具、装具、靴などの展示」「リウマチのビデオ」「ワンポイントレクチャー」「リウマチ性疾患の脊椎病変と治療／三浦恭志医師」
10月21日(金) PM2:40~4:40	市民病院地震対策訓練	地震発生に備えて災害対策本部の設置、被害状況の把握、災害拠点病院としての受入訓練、DMAT班派遣及び患者搬送訓練等を実施しました。
10月29日(土) PM3:00~4:30	第9回スポーツ傷害予防講演	「投球障害肩－肩の仕組みと痛みの原因－／三幡輝久医師」
12月28日(水) PM1:30~	もちつき大会	患者さんに大好評のもちつき大会。一足早いお正月を味わっていただきました。

平成18年

2月 3日(金) AM11:30~	地震等広域災害発生時における相互医療協力に関する協定締結	近い将来発生が予想される東海地震等広域災害発生時に想定される膨大な医療需要を補完し、それぞれの地域住民に安全、安心な医療サービスを提供するため横須賀市立病院との間で締結しました。飯田市立病院に次いで2病院目です。
3月22日(水) PM2:00~3:00	音楽室で歌った曲他	桜丘高等学校音楽科1・2年生の皆さん 合唱、ピアノなど
3月24日(金) PM1:00~4:00	リウマチ講演会	「自助具、装具、靴などの展示」「リウマチのビデオ」 「ワンポイントレクチャー」 「膠原病における皮膚病変の症状/山田元人医師」「療養相談」

新任医師のご紹介



- 1 所属
- 2 前任地
- 3 趣味
- 4 その他 自由

安藤 寿夫



- 1 不妊センター
- 2 名古屋大学医学部附属病院
- 3 ガーデニング、パソコン
- 4 子を望みながら子宝に恵まれ

ない苦しみは、当事者にしか理解することのできない根深いものです。一方、医療は日進月歩で進歩しており、可能なことも多くなってきました。市政100周年の今年、全国的にも有名な豊橋市民病院不妊センターにお招きいただいたことに感謝し、最先端かつ温かい生殖医療を皆様提供していきたいと思っています。不妊症の患者さんは勿論、未婚で子宮内膜症や子宮筋腫などで悩んでおられる方も遠慮なく不妊センターを受診してください。

事務局から

「DPCによる入院医療費の包括払い制度」の導入について

現在、入院診療費は全ての医療行為について診療報酬点数に基づいて計算した額（出来高）でお支払いいただいております。

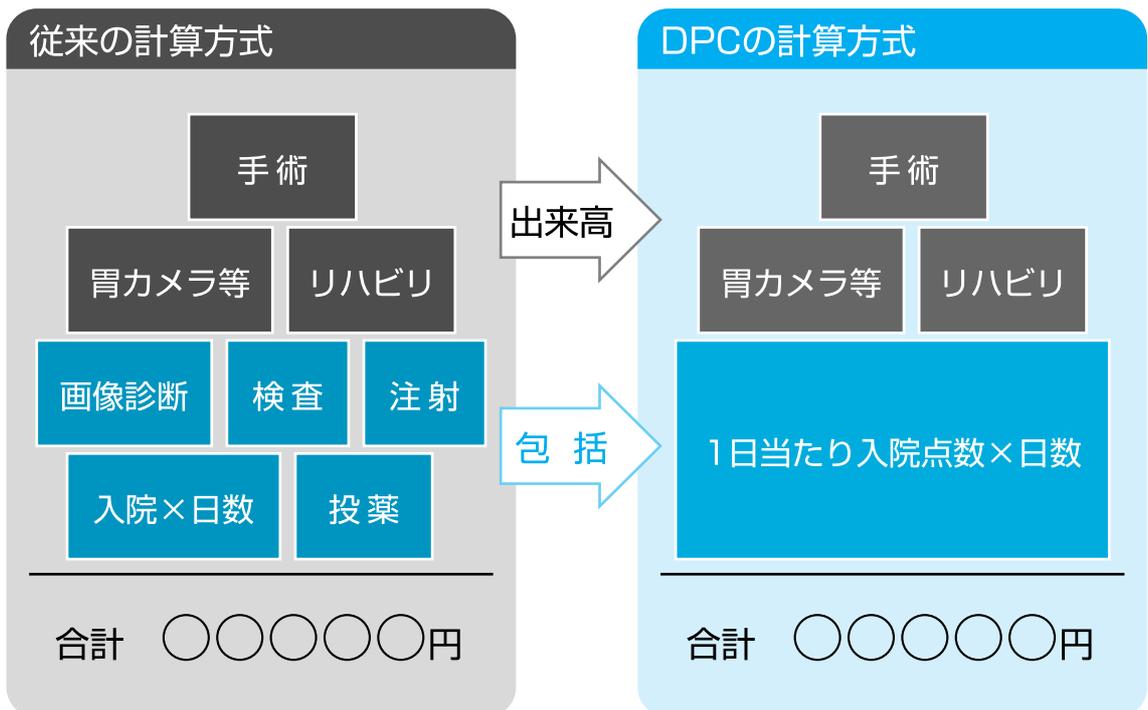
平成18年度より厚生労働省よりDPC対象病院に指定されましたので、6月（予定）に入院した患者さんよりDPCによる入院医療費の包括払い制度に基づいて計算した額でお支払いいただくこととなります。

DPCとはDiagnosis Procedure Combinationの略で厚生労働省が本院のような急性期疾患の医療を担う病院を対象に平成15年度から試行的に導入している制度で、今後、急性期医療を担う病院はこの制度に移行するといわれています。

この制度では、入院費のうち入院基本料、投薬、注射、検査、画像診断（レントゲン、CTなど）などは包括化され疾病分類ごとに厚生労働省が定めた1日あたり定額となり、これに、患者さんの状況により治療が大きく異なる手術、放射線治療、リハビリ、特殊検査などの出来高を合算して請求することとなります。この制度によると、一般的に言われている「検査漬け」「薬漬け」による医療費の増加はなくなることとなります。また、今後、厚生労働省から疾病分類ごとの情報が公表されることが予想されますので、自分の病状に対する入院費用が概算ではありますが予定できるようになると考えております。

なお、この制度による請求は、一般病棟の入院患者さんが対象となり、結核病棟や外来については従来どおりの出来高での請求となります。また、患者さんの病気・治療内容などによっては出来高で請求する場合があります。

請求方法の概略図



携帯電話の使用について

当院では、これまで院内における携帯電話の使用を禁止してきましたが平成18年2月1日より使用許可区域に限り、携帯電話(メール含む)の使用を認めることとし、併せて電源オフ区域を設定いたしました。

なお、使用許可区域以外での携帯電話使用は患者さんの安静療養を守る必要から、引き続き使用禁止とさせていただきます。

使用許可区域

- ・病棟デールーム、有料個室
- ・携帯電話エリア内

診療棟1階 アトリウム内設定エリア
アトリウムエレベータ前

診療棟2階 アトリウムエレベータ前
カルテ庫前設定エリア
売店横自動販売機コーナー



電源オフ区域

病棟関係 救命救急センターICU、新生児医療センター
各病棟のHCU、クリーンルーム、処置室
産婦人科病棟については、併せて分娩室及び陣痛室

外来関係 手術室
血液浄化センター、救急外来診察室、レントゲン室
臨床検査室、リハビリテーションセンター

- 〈注意事項〉
- ・院内では、マナーモードにしておいてください。
 - ・大声での通話は、ご遠慮ください。
 - ・携帯電話使用許可区域は、限られたスペースなので長時間の使用はご遠慮ください。
 - ・病棟デールームに医療機器装着者がいる場合は、携帯電話の使用をご遠慮ください。

※皆様がマナーを守られない場合は、携帯電話の使用を止めていただくこともありますので、マナーは必ずお守りください。

診療技術局から

放射線技術室

透視撮影装置のご紹介

今回は、放射線技術室から、エックス線・テレビ室に設置される透視撮影装置をご紹介します。

今までは、フィルムに撮影をして現像することで、写真を見ていただいておりますが、今回設置される装置は、フィルムの代わりにFPDという受光部に、X線を受け直接写真にすることができる装置です。現像処理がいらなくなり環境にもやさしくなっております。デジタル写真ですのでモニターに表示させることもできます。

また撮影の方向を自由に変えられるCアーム型装置も二台設置され、多方向から病変部を撮影することができるようになりました。今まで見えにくかった部位なども見やすくなり、早期発見、早期治療に役立つものと思っております。

四月から、設置場所がエックス線・テレビ受付（17番）に移りますので、よろしくお願いたします。



臨床工学室

酸素の消費について

酸素(O_2)は呼吸によって体内に取り入れられ、血液によって各器官に供給されます。供給された酸素は頭脳の活動に使われたり、運動のエネルギーとして消費されます。脳と筋肉の比較では、脳の酸素消費量の方が大きいです。全身の臓器・器官の内最大の酸素消費量である脳は、その重量わずか1.4kgで体重の2%程ですが、その消費量は全身の約25%にあたります。その反面、筋肉のように酸素をある



程度貯蔵できるミオグロビンのような物質がないため、供給された酸素は、一瞬にして使い果たしてしまいます。もし心臓停止などで血液が止まれば、脳の機能もその瞬間止まり意識不明で仮死の状態に陥ります。呼吸している空気が無酸素状態となれば、肺血液による必要な酸素分圧が得られないので、その無酸素空気の1呼吸でさえ意識喪失をもたらす危険があります。筋肉の酸素消費量は、脳に比べてかなり小さいのですが、全身の筋肉の総量はかなりあるので、その活動時の酸素消費量の増大は無視できません。全身的に運動量が増せば、酸素消費量は著しく増大し、最大活動時には全身的な酸素不足をきたし、運動終了後もしばらくの間、酸素不足を解消するための深大な呼吸と頻脈が続きます。



高齢者とくすり

副作用が起きやすくなります。

薬は肝臓で代謝され、血液で全身に運ばれ、患部で効果をあげて、働き終わると腎臓から排泄されます。高齢になるとその薬を代謝、排泄する大事な肝臓や腎臓の処理機能が低下するために、薬の副作用が起こりやすくなります。

副作用を恐れて、適当に自分の判断で薬の量を減らしたり、特定の薬をわざと飲まないようなことはしないでください。何かいつもと体調が違うことがありましたら医師または薬剤師に相談してください。

相互作用に気をつけましょう。

高齢者の方は複数の病気にかかっている場合が多く服用する薬の種類が多くなりがちです。そのために薬と薬の相互作用が起こる可能性が高くなります。

ふだん飲んでいる薬を医師または薬剤師に必ず伝えて下さい。重複や不都合な相互作用を防ぐために大切なことです。



くすりの飲み方に気をつけましょう。

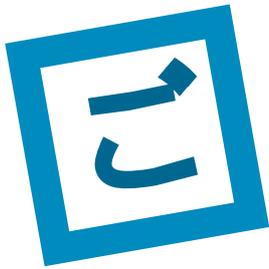
加齢による視力や聴力の低下を原因とする薬の見間違いや飲み方の聞き間違いで、誤った飲み方をすることが考えられます。うっかり勘違いで2回分飲んでしまうと危険な薬もあります。

錠剤やカプセルを薬の包装シート（PTPシート）から取り出さずに服用したために胃や腸を傷つけてしまったという事故も高齢者では時々起こっています。また、薬を寝たまの姿勢で飲むと、食道で止まってしまう、食道潰瘍などの深刻な副作用が発生する場合があるので、できるだけ上体を起こして十分な水またはぬるま湯で飲んでください。体の不自由な方はご家族や介護の方のご協力が必要になります。



薬を正しく理解して健康的な毎日を過ごしてください。

薬 局



～ 院長からのご返事～

1. 院内に喫煙所を作ってほしいのですが・・・。

ご返事

『健康増進法が施行されましたが、その第25条に受動喫煙の防止ということで「学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店その他の多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙（室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいう。）を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならない。」と規定されました。そのため、病院内は全て禁煙エリアとさせていただいたところです。今年の冬は例年に比べ寒い日が多かったので、同様の意見を多数いただきましたけれども、申し訳ありませんが、院内に喫煙所を増設する考えはありませんので、ご了承ください。』

2. 診察の時、席を外していると全館放送で名前を呼び出しますが、知られたくない人もいると思うので、診察券の番号などで呼び出すようにしたらどうでしょう？

ご返事

『この件に関しましては、個人情報保護法が施行される時に院内で検討いたしました。確かに、誰が受診しているか他人に分かってしまうからとの理由で、外来患者さんの名前を呼ぶのをやめたり、病室から患者さんの名札を外したりすることを決めた病院もあったようです。当院の方針といたしまして、名前を呼ばないと患者さんの取り違えなど医療事故に結びつきかねないとの理由から、当面、従来どおり名前を呼ばせていただく取扱いに決めたとところです。今回のご意見は、今後の参考とさせていただきます。』

3. 今回、主人の入院で初めて市民病院に行きました。医師、看護師の皆さんの笑顔がとてうれしく安心して入院でき、感謝の気持ちで一杯です。しかし、あまりに親切に対応してくれたため、退院してから自分のできることもしなくなりました。入院中も自分でできることは、自分でするようにしてはどうでしょう？

ご返事

『お褒めの言葉をいただきありがとうございました。このようなご意見に接しますと、病院に働く者として大変勇気づけられ、また励みとなります。入院では様々な不安や心細さを患者さんが持たれますので、それらを少しでも和らげるような看護に心がけていますが、一方で、患者さんの早期の社会復帰も考慮し、自分でできることは、なるべくお願いするようにしています。退院してからご自分でできる事をしなくなったとのことですが、おそらく一時的なもので、健康に自信がついてくれば自然と直ると思います。ご家族の方は暖かい励ましの言葉をかけてあげてください。』

4. 洗濯機を利用していますが、すすぎの時間が短すぎるのでは？

ご返事

『ご意見を設置業者に伝えました。洗濯の量など使用される条件にもよりますが、メーカーでは一般的な使用なら十分なすすぎ時間だということです。すすぎが悪いと思われる場合は、業者に調査させますので管理課へご一報ください。』

5. 身体障害者用駐車場に一般の人が止めるのが目立つので、ステッカーなどを貼るようにしたらどうでしょうか？

ご返事



『建設的なご意見ありがとうございました。障害者手帳の有無ではなく、病院を訪れる患者さんは何らかのハンデを持っているのだから、障害をお持ちの方と同様に扱うべきではないかとの意見もあるなかで、身体障害者用駐車場の現状ですが、なかなか有効な解決策が見つからず、ご迷惑をおかけしています。現在は、午前中に2回、クローバマークや車椅子マークのついていない車が駐車していた場合に、指導・啓発チラシを貼らせていただく取組みをしています。特に、休日夜間出入り口横の身体障害者用駐車場につきましては、車椅子利用等で移動で本当に困られている方に使っていただくために広めの区画としたものですので、譲り合いの気持ちで、気持ちよくお使いいただけたらと思います。』

6. 移動図書館を作って、週一回でも病棟の寝たきり患者さんなどを回り本の貸し出しをしたら、楽しみが増えると思いますが？

ご返事

『ご意見ありがとうございました。他にも図書館を作って欲しいなどのご意見がありましたが、抵抗力の大変低くなった患者さんも見えますので、感染対策上の問題もあり、現在は行っておりません。ただ、本の持つ効用も十分認識しておりますので、取り入れるならどんな形が考えられるか、今後検討いたします。』

7. 入院中の食事（常食）がおいしかったです。スタッフの対応もよかったです。ありがとうございました。

ご返事

『このようなご意見に接しますと、病院に働く者として大変勇気づけられ、また励みとなります。ただ、まだまだ厳しいご意見を伺うこともありますので、今後は、いつでも、どこでも、だれにでも同様のご意見をいただけるよう、医療サービスの標準化と更なるレベルアップをめざしたいと思います。』



8. 付き添いやお見舞いの方がデイルームで頻繁に携帯電話を使用している。入院の時、キチンと説明をして欲しい。

ご返事

『院内に掲示させていただきましたが、平成18年2月1日より院内の一部で携帯電話の使用を許可いたしました。デイルームにつきましても、使用許可区域に指定させていただきました。「青竹」のNo.27でも掲載いたしました。携帯電話の効用も一定理解したなかで、以前からの様々なご要望・ご意見を考慮して決めさせていただいたものです。ただ、使用許可区域であっても、まわりに迷惑をかけるような大きな声での通話や医療機器に近づけないなどのルールをお守りいただくことを前提とした許可ですので、皆様のご協力をお願いいたします。なお、許可区域以外ではマナーモードに、電源オフ区域では必ず電源をお切りください。』

携帯電話の使用については、今回の「青竹」に詳しく載せてあります。

奉仕(サービス)について

豊橋市民病院長 小林 淳剛

私は前院長の瀬川昂生先生より、病院の役に立つから是非とも豊橋ロータリクラブに入会するように指示をいただいておりますので、長屋孝美豊橋医師会長のご推薦で会員にいただいております。

昨年10月23日トヨタスタジアムで2005 - 2006年 国際ロータリ第2760地区大会が催されました。そこで小島 哲R.I.会長代理の講演を拝聴しました。ここで会長代理は3つの話題をお話になりました。一つめは奉仕について、二つめは交換学生のこと、三つめは水のお話でした。

ここで披露いたします話は一つめの奉仕(サービス)についてです。

それは、完全に目の見えない方の話です。大阪の西にある神戸、そこからちょっと大阪寄りに「六甲」という街があります。そこから大阪へ毎日仕事に通っておられます。

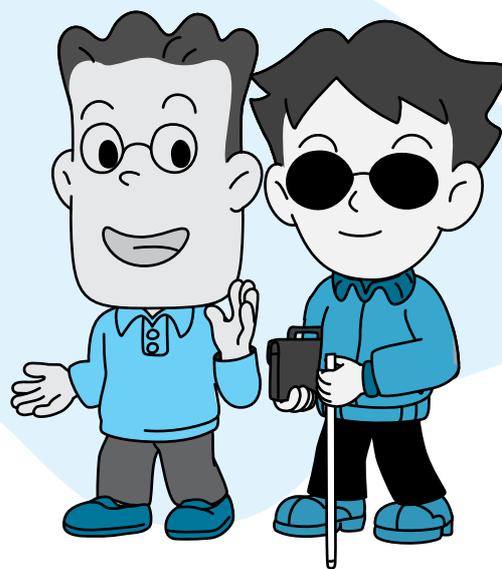
ある日、通いなれた大阪駅で、改札口に向かってとことこ歩いて、まさに改札口へ入らんとした時に、どこかから走って来たおっさんと衝突したそうです。おっさんは大変怒りまして、「お前気いつけんかい」と喧嘩腰になったんですが、すぐに白い杖に気づいて目が見えないとわかりました。「なんや目見えへんのか、しゃあないな」と、トーンダウンしたんです。その方は正面が改札だと思って歩いたんですが、ぶつかって体が回りますと、改札の方向がわからないんですね。うろろうろしてましたら、そのおっさんが「お前、何うろろうしとんのや、改札口はこっちや」といささか乱暴に改札へ案内し

てくれたそうです。その後も、「お前どこへ帰るんや」「わいは六甲まで」「わしもそっちへ行くんや」と、電車のプラットホームに案内して電車に乗せてくれました。「今日は空いとる、ここへ座れ」と座らせてくれたそうです。目の見えない方は、電車に乗っても、どの席が空いているかはわからないそうです。触って見ないとわからないのです。その次は、止まっている駅がどこかがわかりません。降りる駅まで勘定しないといけないので勘定してましたら、「お前何勘定しとんねん」と聞くので、「八つめが六甲なんで」と言うと、「六甲の先まで行くから、着いたら言うたるから心配すな」と六甲まで送ってくれたそうです。六甲へ着いたあとも「出口こっちゃ」と、ドアの方へ連れていってくれて、「プラットホームは10センチほど低いから気いつけや」と降ろしてくれたそうです。目の不自由な方は、声のする方に丁寧に頭を下げ、「今日は非常に楽に帰って来れました、ありがとうございました」と丁寧に礼を言われたそうです。それを受けて、おっさんは「気いつけて帰れや」と言ったそうです。その後、独り言を言ったそうです。その独り言がプラットホームの目の不自由な方にもはっきり聞こえました。「そうか、こんな俺でも人の役に立つことがあるんやなあ」と言ったそうです。

目の不自由な方は最後に「あの方は、きっとこれから町の交差点などで目の見えない人が困っていたら『どこへ行くんや、横断歩道こっちゃ』と言って、案内してくれるでしょうね」とおっしゃってました。

私は、この話が「ロータリーのサービス」、「超私の奉仕」を表わしているような気がするんです。目の不自由でない人は、苦労してサービスしているつもりはなかったのですが、相手はものすごく喜んでくれました。相手の喜びが自分の喜びに返ってきているわけです。それが「そうか、こんな俺でも役に立つことがあるんやなあ」という独り言に現れているんです。

この話のように、健康人である病院職員にとっては苦労してサービスしているつもりでは無いけれど、病気の人（ハンディキャップのある人）にはものすごく喜んでもらえることが沢山あると思います。このようなことが、相手が患者さんであれ、患者さんのご家族であれ、職員同士であっても意識せずにできるようにしていきたいと思います。



お知らせ

院内コンサート

～ゴスペルコンサート～

- と き** 平成18年5月23日(火)
午後1時30分～午後2時30分
- と ころ** 豊橋市民病院 診療棟1階アトリウム
- 出 演** Voice of love の皆さん
ゴスペルソング、キーボード

皆様ひと時をお楽しみください。

豊橋市民病院の理念

信頼に応える技術、人に優しい思いやりのある心、
地域に開かれた安らぎのある病院

豊橋市民病院の基本方針

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 基幹病院としての役割を担いながら、他の医療機関との間の有機的な連携のもとに当院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 研修医、医学部学生、看護学生、コメディカル、救急救命士などの教育を積極的に行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。

当院のご案内は下記でも行っています。併せてご覧下さい。

豊橋市民病院インターネットホームページアドレス

<http://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp>